

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2012年第6号(週報)

2012年第6週(2月6日~2月12日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

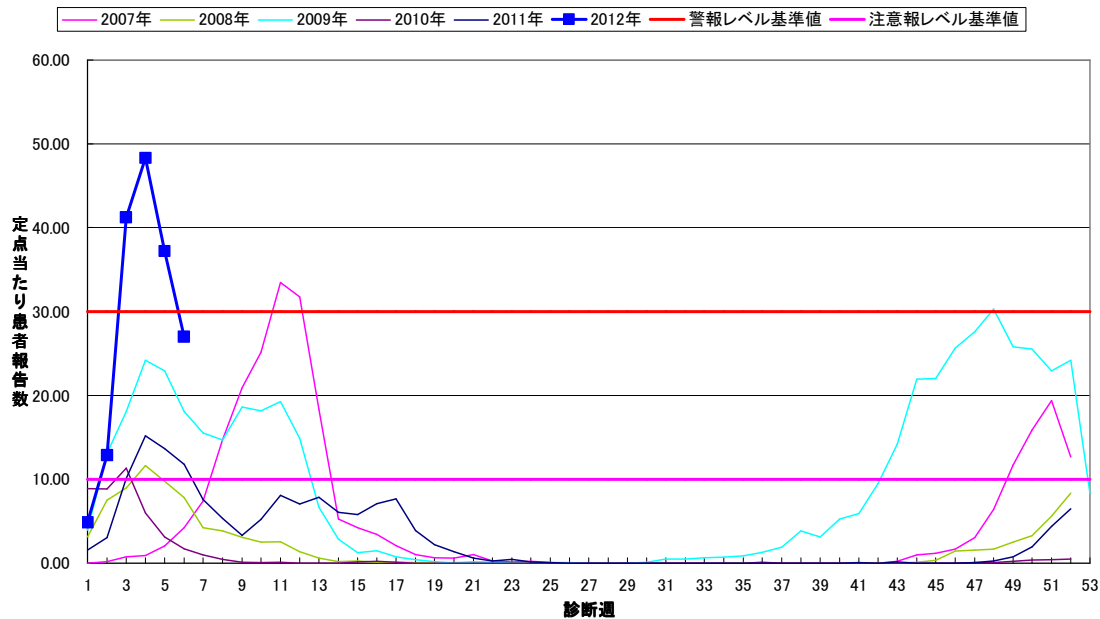
— インフルエンザ : 患者報告数は減少も、例年と比較して多い! —

県全体の定点当たり患者報告数は26.98人(前週:37.22人)と2週連続で減少しましたが、過去5年間の同時期と比較して多くなっています。ほとんどの保健所管内で、患者報告数は横ばいまたは減少傾向となっていますが、新宮保健所及び串本支所管内では患者報告数が増加しています。

感染を予防するために、うがい・手洗いの励行や、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。また、バランスのよい食事、十分な睡眠をとる等、普段から健康管理に努めることも大切です。

全国の地方衛生研究所からの報告に基づく今シーズンのインフルエンザウイルスの分離・検出状況について、2月2日現在の報告数は1,521例あり、約90%(1,369例)がAH3亜型でした。

インフルエンザ(和歌山県全体)



保健所管内名	警報・注意報	第5週の患者数	第6週の患者数	増減
和歌山市	警報	50.07人	34.53	↓
海南	注意報	19.00人	10.00	↓
岩出	警報	40.17人	31.67	↓
橋本	警報	30.00人	24.00	↓
湯淺	警報	28.00人	27.40	→
御坊	警報	34.67人	19.33	↓
田辺	警報	44.57人	25.57	↓
新宮	警報	20.00人	24.33	↑
串本支所	注意報	8.00人	10.00	↑

一 感染性胃腸炎：患者報告数は減少傾向 一

県全体の定点当たり患者報告数は5.77人（前週：7.10人）で、2週連続で減少しています。

前週、患者報告数の多かった和歌山市、海南保健所管内は減少し、今週は定点当たり患者報告数が10人を超える保健所管内はありません。

冬季の感染性胃腸炎はウイルス性のものが多く、なかでもこの時期はノロウイルスが多くなっています。ノロウイルスの感染力は強く、患者の吐物・便から手指を介して感染することも多いため、その取り扱いに注意が必要です。

感染性胃腸炎の感染予防としては、次のようなポイントがあります。

○手を洗いましょう。

外出先から帰った後や、トイレの後、調理の前には、消毒液や石けんで十分手を洗いましょう。タオルは共有せず専用のものにしましょう。

○食品の取り扱いに注意しましょう。

加熱する場合は、食品の中心まで火が通る（85℃、1分）ようにしましょう。まな板、包丁、ふきん、タオル等も熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱が有効です。

○患者の吐物等の処理に注意しましょう。

素手で触らないように使い捨てビニール手袋等を着用しましょう。

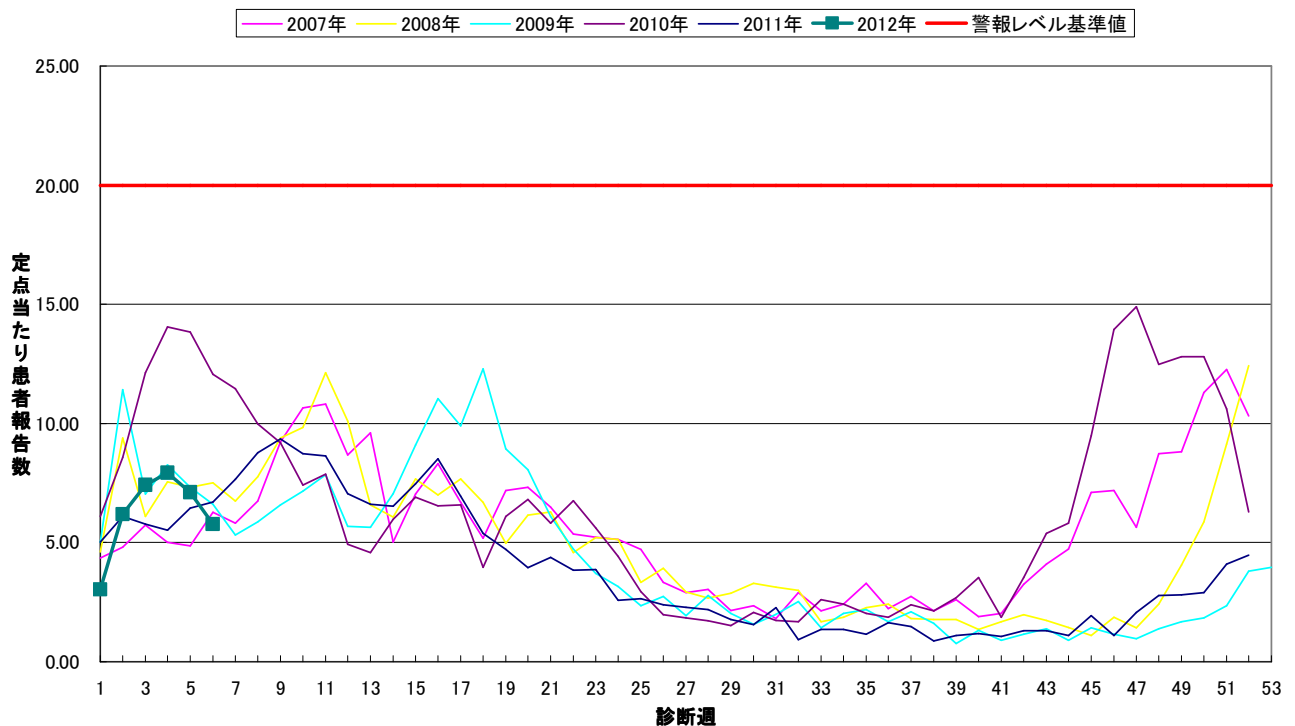
使い捨て布等で拭き取った後、ビニール袋などに入れて外に漏れないようにして捨てましょう。

汚染された床は、塩素系漂白剤を約200倍程度に薄めてペーパータオルなどでふき取り、30分ぐらいたら、十分水拭きをしておきましょう。

※塩素剤の取り扱いは、ビニール手袋などして、十分換気しましょう。

※金属物は腐食を起こすので消毒後十分拭き取りましょう。

感染性胃腸炎(和歌山県全体)



○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 5名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：つつが虫 1名
 - 5類感染症：後天性免疫不全症候群 1名、梅毒 1名

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	35
A型肝炎	1
つつが虫病	3
後天性免疫不全症候群	2
梅毒	1

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

インフルエンザ（和歌山市、岩出、橋本、湯浅、御坊、田辺、新宮保健所管内）

注意報レベル

インフルエンザ（海南保健所、新宮保健所串本支所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	1349	10	16	58	64	79	119	133	68	74	84	54	287	33	29	73	57	45	43	16	7
	定当	26.98	0.2	0.32	1.16	1.28	1.58	2.38	2.66	1.36	1.48	1.68	1.08	5.74	0.66	0.58	1.46	1.14	0.9	0.86	0.32	0.14

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	12	4	2	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.39	0.13	0.06	0.13	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	-	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	0.03	-	0.03	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	26	-	-	1	3	2	2	5	4	2	3	1	3	-	-
	定当	0.84	-	-	0.03	0.1	0.06	0.06	0.16	0.13	0.06	0.1	0.03	0.1	-	-
感染性胃腸炎	報告	179	2	9	31	20	17	23	16	13	12	7	6	20	-	3
	定当	5.77	0.06	0.29	1	0.65	0.55	0.74	0.52	0.42	0.39	0.23	0.19	0.65	-	0.1
水痘	報告	27	-	1	4	5	6	4	4	3	-	-	-	-	-	-
	定当	0.87	-	0.03	0.13	0.16	0.19	0.13	0.13	0.1	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	6	-	-	1	-	-	1	1	-	-	2	1	-	-	-
	定当	0.19	-	-	0.03	-	-	0.03	0.03	-	-	0.06	0.03	-	-	-
突発性発しん	報告	17	-	7	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.55	-	0.23	0.29	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	定当	0.1	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	0.03	-	-	-	0.03

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	518	30	190	144	137	58	179	73	20
	定当	34.53	10	31.67	24	27.4	19.33	25.57	24.33	10
RSウイルス感染症	報告	2	1	4	1	-	1	2	1	-
	定当	0.22	0.5	1	0.25	-	0.5	0.5	0.5	-
咽頭結膜熱	報告	-	-	2	1	-	-	1	-	-
	定当	-	-	0.5	0.25	-	-	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	4	-	2	1	3	5	11	-	-
	定当	0.44	-	0.5	0.25	1	2.5	2.75	-	-
感染性胃腸炎	報告	88	12	35	11	10	5	8	10	-
	定当	9.78	6	8.75	2.75	3.33	2.5	2	5	-
水痘	報告	7	4	11	-	3	-	2	-	-
	定当	0.78	2	2.75	-	1	-	0.5	-	-
手足口病	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	4	-	1	-	1	-	-	-	-
	定当	0.44	-	0.25	-	0.33	-	-	-	-
突発性発しん	報告	6	2	5	2	1	-	1	-	-
	定当	0.67	1	1.25	0.5	0.33	-	0.25	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	3	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	1	…	1	-	-	2	3	-	…
	定当	0.33	…	1	-	-	2	1.5	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

1月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.64人(11月:1.91人)と最も多くなっています。患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約72%占めています。その他の感染症は、毎月0～数名と和歌山県では特に多くはありません。

【1月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	29	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	4	1	21
	定当	2.64	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	0.09	0.09	0.36	0.09	1.91
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	定当	0.45	-	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.36
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2012 年第 6 号

発行日：平成 24 年 2 月 16 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意下さい。